

人生100年時代を見据えた 高年齢者支援実践トレーニング

通学

株式会社リバーズ キャリコンシーオー



1、人生100年時代に向けたキャリアコンサルティング

(1) 講習

人生100年時代に向けた高年齢者支援に関して現状を理解したうえで、必要なスキル・ツールを学び、高年齢者支援ができるようになることを目的とする。

(2) 講習を通して習得する目標項目

- ① 高年齢者支援の現状や課題を理解していく。
- ② 高年齢者支援を行うのに必要なツールを理解していく。
- ③ 高年齢者支援をツール活用を通して、実践力を身に付ける。

(3) 講座を通して習得する、支援効果

- ① 高年齢者支援の自己理解・仕事理解の深め方を身に付ける
- ② 高年齢者支援の経済面を踏まえたライフプラン支援方法を身に付ける
- ③ 高年齢者の変化への適応力を高める方法を身に付ける。

2、人生100年時代に向けたキャリアコンサルティングの現状

- 現在の日本は総人口に占める高齢者人口の割合は28.1%と、過去最高となっており、この割合は今後伸び続ける予定です。
- 一方で労働力人口は、2019年平均で6886万人と前年に比べ56万人の増加（7年連続の増加）となっている。
- 今後の労働市場において高年齢者が占める割合は一層増える。

（右図 労働力調査（基本集計）
2019年（令和元年）平均結果
（総務省統計局））

図1 労働力人口の推移

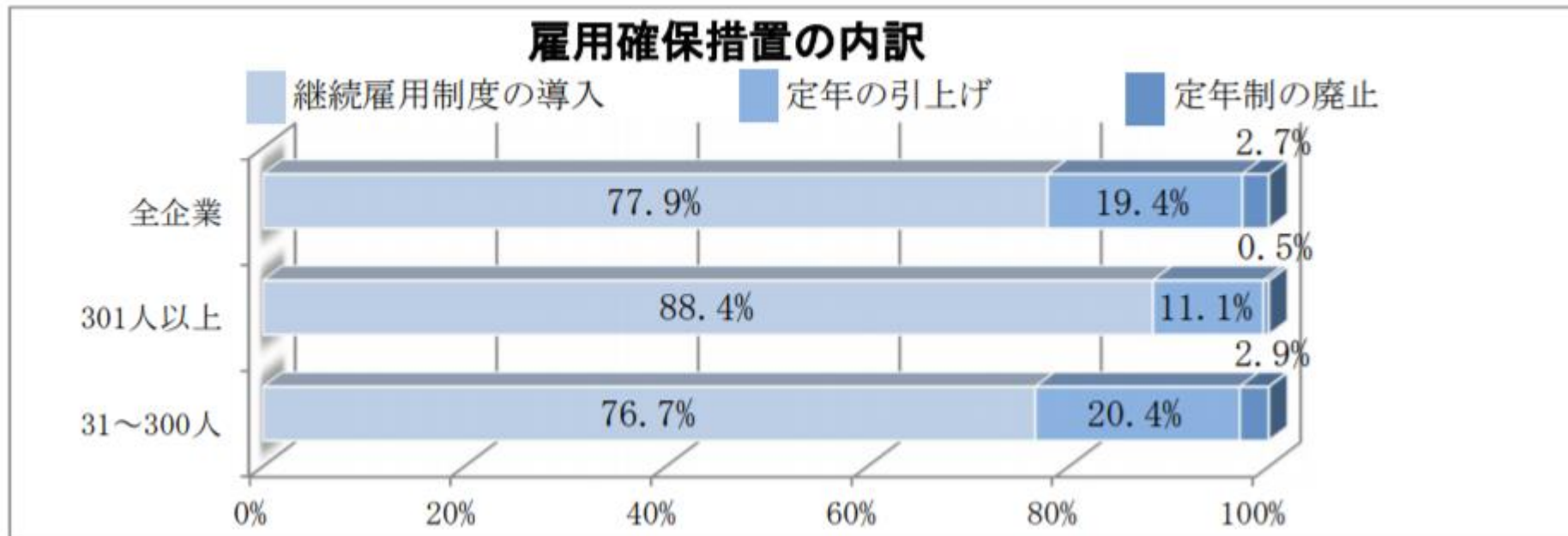


2、人生100年時代に向けたキャリアコンサルティングの現状

・雇用状況

- ① 65歳までの定年の引上げ
- ② 65歳までの継続雇用制度の導入
- ③ 定年の廃止

のいずれかを講じることは事業主の義務



2、人生100年時代に向けたキャリアコンサルティングの現状

- 雇用を希望する方の雇用の希望状況や、就業理由
- 「現在の会社で働きつづけたい」(54.7%)
「趣味など自分のために時間を使いたい」(14.9%)の順
会社で雇用者として勤務する希望者は6割を超えてる。

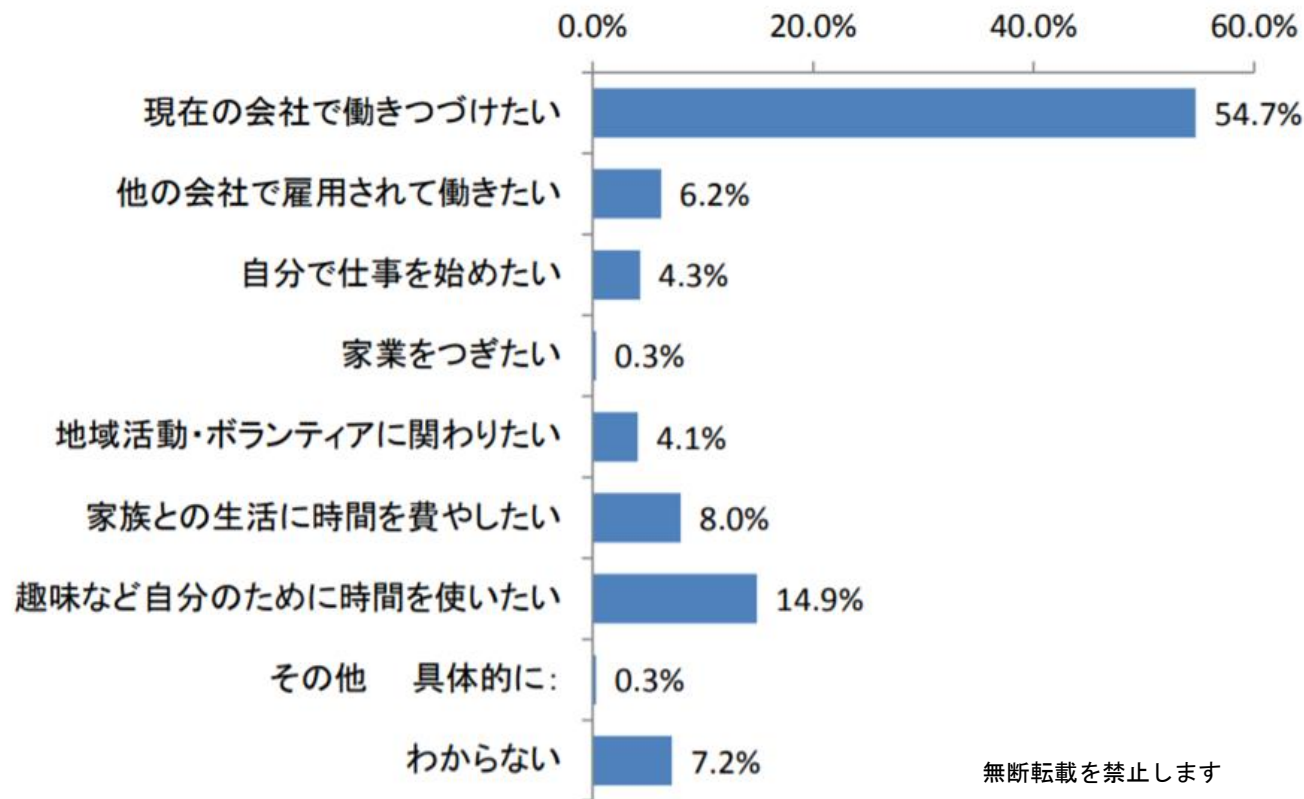


図4 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
「高齢者雇用の現状と人事管理の展望」今後の就業・活動希望（複数回答、N=738）

2、人生100年時代に向けたキャリアコンサルティングの現状

- 継続雇用者の就業理由
- 「現在の生活のため」78.5%、「老後の生活に備えて」47.0%
「健康のため」35.4%
一位と二位が経済面での理由により働くことを希望

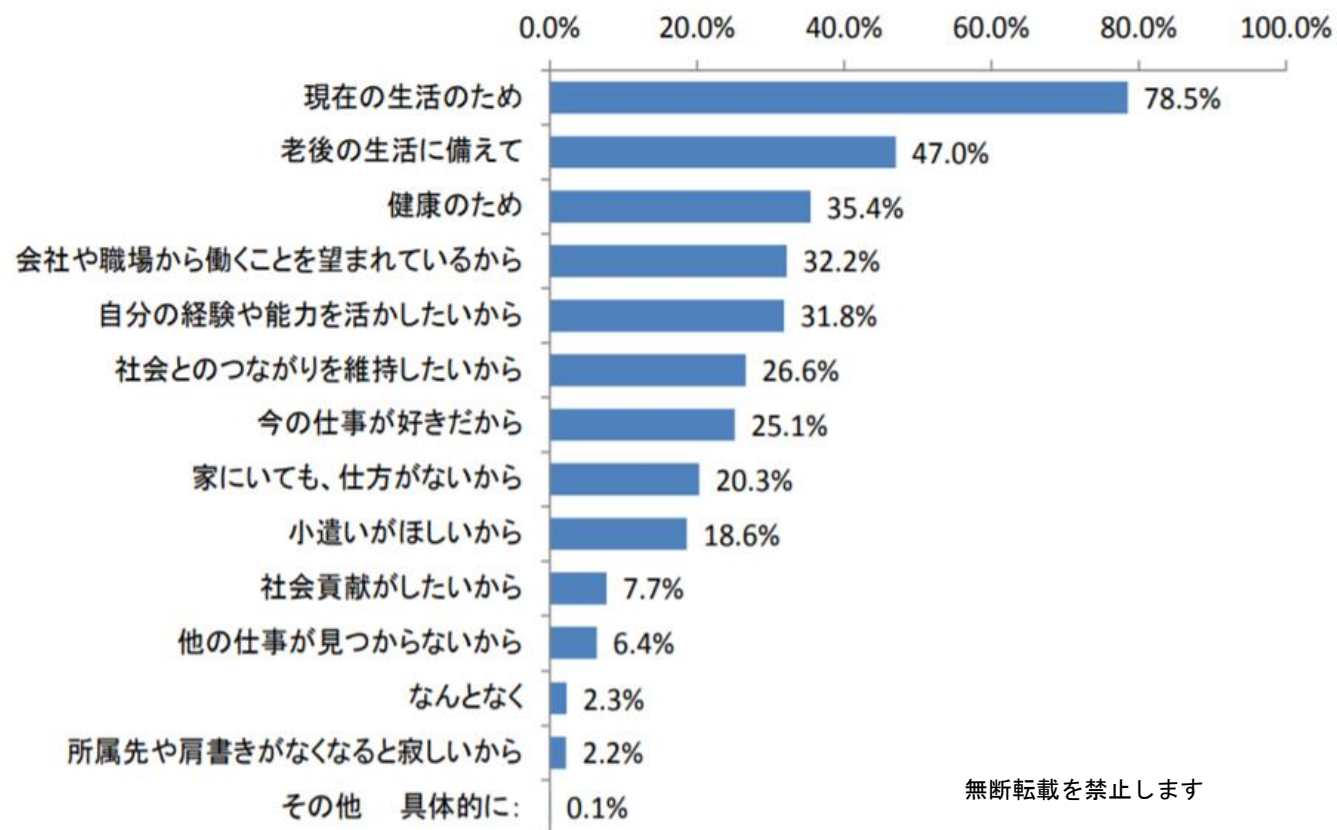


図4 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
「高齢者雇用の現状と人事管理の展望」今後の就業・活動希望（複数回答、N=738）

3、高年齢者雇用の準備不足

高年齢者雇用の実情

- 60歳以上になると全体の5割以上の方が、年収が半減以下になり、8割以上の方が、60歳未満の年収に対して6～7割以下の年収となる。
- 継続雇用では6割近くの方は年収が半減以下
- 経済的な理由で継続雇用を望んでいるにも関わらず、経済的に厳しい状況に置かれてしまう現状

定年前と比較した 現在の賃金の水準	合計 (人)	継続雇用 (人)	それ以外 (人)	合計 (人)	継続雇用 (%)	それ以外 (%)
8割以上	162	78	84	15.5	11.1	24.6
ほぼ同程度	79	32	47	7.5	4.5	13.7
8～9割	83	46	37	7.9	6.5	10.8
6～7割	302	209	93	28.8	29.6	27.2
5割以下	583	418	165	55.7	59.3	48.2
4～5割	342	259	83	32.7	36.7	24.3
3割以下	241	159	82	23.0	22.6	24.0
合計	1,047	705	342	100.0	100.0	100.0

独立行政法人経済産業研究所
「定年後の雇用パターンとその
評価－継続雇用者に注目して」
定年後の賃金水準

3、高年齢者雇用の準備不足

高年齢者雇用の実情

- 50歳代に「60歳以降も働くために」準備していたこと
 「健康状態の維持・向上」 30.66%
 「60歳以降の生活設計」 22.09%
 「60歳代の仕事に必要な知識や技能の習得」 15.28%

「準備は行っていない」者は半数近くの45.57%にも達する

表頭:Q38<50歳代>60歳以降に向けた50歳代の準備(複数回答)【母数:50歳代働き者】

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1段目 度数	TOTAL		会社に貢献 する方法の 探索・検討	60歳代の仕 事に必要な 知識や技能 の習得	60歳以降の キャリアプ ランの設計	配属可能性 のある職場 への働きか け	60歳以降の 生活設計	同業他社や転 職時の就業条 件に関わる情 報収集	健康状態の 維持・向上	その他 具体的に:	準備は行っ ていない	わからない
2段目 横%												
0	TOTAL	1073 100.00	107 9.97	164 15.28	137 12.77	49 4.57	237 22.09	37 3.45	329 30.66	7 0.65	489 45.57	20 1.86

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

無断転載を禁止します

「高齢社員の人事管理と展望—生涯現役に向けた人事戦略と雇用管理の研究委員会報告書—
 (平成27年度)」

3、高年齢者雇用の準備不足

準備不足の問題

- 全体の6割の方が、働くことを希望しており、そのうちの8割の方が経済的な理由で雇用の継続を希望している。
- その状況に対して、50歳代の45%の方が何の準備もしておらず、準備をしても健康状態の維持などキャリアや就労に関する分野と別の準備が30%を占めている。
合計75%が60歳以降の就労に関する準備をしていない状況。
- さらに、継続雇用制度では、継続雇用する際に子会社への出向などグループ会社での雇用でもできるようになった。（「高年齢者の雇用の安定等に関する法律の一部を改正する法律」）
⇒専門外の仕事での継続雇用も問題はない。

3、高年齢者雇用の準備不足

- 高年齢者の準備不足の問題
→ 『自己理解の必要性』が高まっている
- 高年齢者雇用の現状に関して、高年齢者が望む環境が整っていない可能性が高い。
→ 『仕事理解の必要性』が高まっている。
- このような状況に対して自己理解・仕事理解を促し、
『ライフプランを含めた支援』が求められている。
⇒ キャリアコンサルティングの重要性が増している。

4、自己理解～行動・特徴把握シート～

- 自己理解だけではなく、他者から見られる自分を理解していくシート。
- 役職経験者などは定年前までは部署内で上の指示する立場に立っていたが、再雇用後は役職を降りて、むしろ指示を仰ぎ仕事をする立場に変わる。しかし、この変化を馴染めずに従来の感覚で指示を出し、職場から疎まれることが考えられる。
- それを防ぐ意味で、どんな人が職場において欲しい中高年かなどを考え、自己の行動や特徴を振り返り今後の行動を考えるシート。

4、自己理解～行動・特徴把握シート～ 使用の手引き

- 本来は時間をしっかりと掛けて考えていくワーク。
今回はロールプレイとして行います。引き出すことを目標に取り組みましょう。
- ①使用の手引き・作成例の手引き部分をご確認下さい。
- 3～5ページ目のワーク1～3を確認して下さい。
- 職場にいて欲しい、いて欲しくない中高年者を想像して貰います。
- 例えば、作成例のように相談者から話を聴き出し、どんどんと書いて貰うようにキャリアコンサルティングを行います。
- 非常に大変な物にもなりますので、関係構築が非常に重要となります。

4、自己理解～行動・特徴把握シート～ ロールプレイ

- それでは今からロールプレイに入っていきます。
- 先に実施する人を決めて下さい。
- 時間は20分間で、ワーク 1～3 を相談しながら、箇条書きで良いので記載し埋めていくようにしましょう。
- 時間が余っていればワーク 4 まで進めるようにして下さい。

- 終了しましたら、フィードバックをおこないましょう。

- その後は交代していきます。

4、自己理解～行動・特徴把握シート～ ロールプレイ

- ロールプレイの役割を交代しておこないます。
- 時間は20分間で、ワーク 1～3 を相談しながら、箇条書きで良いので記載し埋めていくようにしましょう。
- 時間が余ればワーク 4 まで進めるようにして下さい。
- 終了しましたら、フィードバックをおこないきましょう。

5、人生後半戦の経済面を含めたライフプランニングシート

- ライフプランニングシートは、定年退職後の経済面を考えていない高年齢者の半数程度の方にとって、重要なシートとなります。
- 今後、25年間の収入・支出面を記載していくことで、将来的なライフプランを視覚化して考えることができます。使用の手引きでは、補足的なキャリアプランやライフプランを考えるための資料があります。
- 今後、必要な金銭が書かれている資料、今後の定年退職後の時間の長さ記載の資料、残業を考慮しない場合の60歳までの総労働時間と、80歳まで生活した場合の時間の比較が記載されています。

5、人生後半戦の経済面を含めたライフプランニングシート

- 経済面という非常にリアルな数字に触れることになります。厳しい現実に直面する場合もあるので、今回はロールプレイとして実際に練習してみましょう。
- ①使用の手引き・作成例の手引き部分をご確認下さい。
- 6 ページ目のワークシートを確認して下さい。
- 準備された年収や、ねんきん定期便などを元に一緒に作ります。
- まずは年齢・収入面を埋め、さらに分かっている生活費を埋めます。
- 次に支出を埋めます。この時にしっかりと傾聴しながら、ゆっくり埋めます。
- 非常に大変な物にもなりますので、関係構築が非常に重要となります。

5、人生後半戦の経済面を含めたライフプランニングシート

- ロールプレイ
- 時間は20分間で、相談事例1・相談事例2どちらを使用しても良いです。ライフプランニングシートを埋めながら、相談をしてみましょう。
- 終了しましたら、フィードバックをおこないましょう。
- その後は交代していきます。
- 交代後は、先ほどの相談事例の途中からの開始をしても良いですし、新たな相談を開始しても、どちらを選ばれても大丈夫です。

相談事例 1

- 相談者：男性（55）、製造業に勤務25年。今後のライフプランが気になり相談にきた。
- 相談内容：製造業の技術として25年働いてきており、今まで老後のことなどを考えてこなかった。ただ、妻から老後の働き方を相談され、会社で調べた所、継続雇用制度があるが給料が随分と下がると知った。老後はのんびりしようと思っていたが、それもできなさそうで不安になっている。どうすればいいか相談したい。

※完成版ワークシートは「ケース 1 製造業」

相談事例 2

- 相談者：男性（59）商社に勤務29年。今後のライフプランが気になり相談にきた。
- 相談内容：商社にて営業として29年働いてきており、来年に定年退職になり、そのまま働けると考えていたがグループ会社の物流会社にて継続雇用制度にて働くということが分かった。給料が半分以下に下がると知った。今後のことに不安になり、どうすればいいか相談したい。

※完成版ワークシートは「ケース2 商社」

5、人生後半戦の経済面を含めたライフプランニングシート

- ロールプレイの役割を交代しておこないます。
- 時間は20分間で、相談事例1・相談事例2どちらを使用しても良いです。ライフプランニングシートを埋めながら、相談を試みましょう。
- 交代後は、先ほどの相談事例の途中からの開始をしても良いですし、新たな相談を開始しても、どちらを選ばれても大丈夫です。
- 終了しましたら、フィードバックをおこなきましょう。

6、環境変化を考えるシート

- 世の中の環境変化がどのように仕事への変化に繋がるのかを考えるワークシート。キャリアコンサルタントとしては今後の予想をある程度、新聞やニュースなどで把握しておくが良いです。
- 高年齢者は今までの経験を活かしたいと考える場合が多く、仕事上の変化を避けたがる傾向があります。
- ただ、世の中が変化することにより、仕事の変化は避けられないと気付きを与え、その上でどのように柔軟に対応すれば良いのかを考えていく有効なツールとなっています。

6、環境変化を考えるシート

- 作成例をもとに社会、経済の変化から記載を行っていきます。
- この時に人工知能（AI）やロボットの発達は少しずつ身近になってきており仕事への影響も想像しやすいです。一方で地球温暖化に関しては、仕事への影響は考えにくいかもしれません。
- ①使用の手引き・作成例の手引き部分をご確認下さい。
- 5 ページ目のワークシートを確認して下さい。
- 変化が分からない場合には、未来年表などを使用します。
- 「現在起きている変化」と「今後予想される変化」の「社会、経済の変化」を参考例を確認します。そして、その変化が「自社、業界の変化」「仕事、職場の変化」「個人、家族の変化」に繋がるかを考えていきます。

6、環境変化を考えるシート グループワーク

- グループワーク
- 短時間でグループワークを行い、「仕事、職業の変化」と「個人、家族の変化」の二つを相談し考えていきましょう。
- 時間は15分間で、添付のワークシートと参考例を確認しながら相談し、変化を考えましょう。
- 終了しましたら、フィードバック・意見交換をおこないましょう。

7、アンケート・レポート

- 今からアンケートとレポートを記載していただきたいと思います。
- こちらからの指示に従って記載して下さい。